

産婦人科について ご紹介します

産婦人科部長
白銀 透
(しろがねとおる)

道南の江差町出身です

4月より産婦人科部長として妻と6歳の男児(小学校入学)と3歳の女児と共に八雲町にやってきました。生まれは道南の江差町で、地元に戻ってきた感があり、懐かしい感じがしております。これから皆様、公私共々よろしく申し上げます。

赴任にあたり、当院で行っている産婦人科の診療と今後の方針についてご説明させていただきます。

産科診療

地域で唯一の24時間救急対応が可能な産婦人科です。

当院は産婦人科以外にも多数の診療科を併せ持つ公共の総合病院であるため、あらゆる妊娠中の疾患に対して24時間の救急対応が可能です。さらに、道南の周産期センターである函館中央病院とも連携しており、皆様に24時間安心して過ごして頂ける周産期環境を整えております。少子化と共に分娩数は減少傾向にありますが、今秋には新たな本館棟が完成しますので、一人一人の方に質が高く、快適な周産期診療を提供していきたいと考えております。

妊娠、出産は皆様にとって大変おめでたい出来事ではありますが、妊娠中は切迫流・早産や緊急帝王切開などの予期せぬ出来事が突然起きます。産後は弛緩出血などの、命に係わるような大量出血が起こることもあります。そのため、産科診療は他科に比べて緊急性の高い診療科と言えます。また、合併症のある方は開業医では、ハイリスク妊娠として取り扱わないため、当院のような医療機関に送られてきます。

周辺地域との連携医療

周辺地域への医師派遣は継続して行います。

- ・毎週火曜日：寿都診療所へ外来診療
- ・毎週木曜日：せたな町立国保病院へ外来診療
- ・月1回：せたな町大成地区へ巡回診療

周辺地域との連携医療として、現在、上記地区に出張診療を行っておりますが、今後も「連携を密にして継続していく予定」であります。

婦人科診療

- ・良性腫瘍は腹腔鏡手術を積極的に行います。
- ・悪性腫瘍は北海道大学や北海道がんセンターと同等の治療が受けられます。

私は、体外受精を行う不妊症以外は、あらゆる婦人科疾患を診療しております。特に最近は腹腔鏡手術を積極的に取り入れております。

腹腔鏡手術は開腹しない低侵襲手術で術後3日から5日程度で退院でき早期の仕事復帰が可能となることから、卵巣腫瘍や子宮筋腫などの良性疾患はできるだけ「開腹せずに腹腔鏡手術で行いたい」と考えております。現在、不妊症や腹腔鏡手術を専門とする北大婦人科准教授の工藤先生にも手術応援を頂いており、多くの症例に腹腔鏡手術が対応可能となっております。

悪性腫瘍につきましては、腫瘍外来を開設しており、月1回ではありますが、北大婦人科の櫻木教授に診察に来て頂いております。また、北海道がんセンターの加藤副院長にも月1回ではありますが、週末に来て頂いております。

このような支援のもと、「北海道大学や北海道がんセンターと同等の治療が受けられる」ようになっており、当院での手術はもちろんのこと、紹介も容易にできる環境が整っております。

最後に

当院は今秋に新本館棟が完成し、電子カルテ化など、病院として新たな一歩を踏み出す訳ですが、八雲町及び周辺地域の皆様には当院産婦人科を「気軽、安心して、快適に」ご利用頂けますよう随時改善していく所存であります。

簡単ではございましたが、当科の診療体制と今後の方針の説明をさせていただき赴任のご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。